

## EMA-CO 療法

ID
氏名
年齢
科名
病棟

## EMA-CO 療法

2 週毎

コース

疾患

絨毛癌

主治医 指導医 HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

## スケジュール

		day1	2	3	...	8
エトポシド	100 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓			
メソトレキサート(メソトレキサート)(a)	200 mg/m <sup>2</sup>	↓				
コスメゲン(アクチノマイシン D)	0.5mg/body	↓	↓			
メソトレキサート(メソトレキサート)(b)	100 mg/m <sup>2</sup>	↓				
エンドキサン(シクロホスファミド)	600 mg/m <sup>2</sup>					↓
オンコビン(ビンクリスチン)	1.0mg/ m <sup>2</sup> (最大 2mg)					↓
-----						
ロイコボリン(ホリナート)	15mg/body/回		↓↓ ↓↓			

【注意】 \* メソトレキサート投与開始 24 時間後より、12 時間おきにロイコボリンを 4 回投与する

\* エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時 100mg を輸液 250mL 以上で溶解  
(濃度 0.4mg/mL 以下の濃度になるように)し、30~60 分で点滴静注するのが望ましい。  
また、DEHP フリー点滴セット(フィルターなし)を使用する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

《メインルート》

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| ① 5%ブドウ糖液 500 mL     | 点滴静注 240 分 (125 mL/時間) |
| ② アセテート維持液 3G 500 mL | 点滴静注 240 分 (125 mL/時間) |
| ③ アセテート維持液 3G 500 mL | 点滴静注 240 分 (125 mL/時間) |
| ④ 生食 500 mL          | 維持 (20 mL/時間)          |

EMA-CO 療法  
《サブルート》

- ① カイトリル注 1mg 2A + デキサメタゾン注 6.6 mg (2mL) + 生食 100 mL  
点滴静注 30分 (200 mL/時間)
- ② エトポシド + 生食 500 mL 点滴静注 120分 (250 mL/時間)
- ③ メソトレキセート(a) + 生食 500 mL 持続静注 12時間 (41.7mL/時間)
- ④ コスメゲン + 注射用水 20 mL + 生食 50 mL 点滴静注 5分 (600 mL/時間)

(③を開始後すぐ)

※コスメゲンは1バイアルを注射用水 1.1 mL に溶解後(0.5 mg/mL)、必要量を抜き取る

- ⑤ メソトレキセート(b) + 注射用水 20 mL + 生食 50 mL 点滴静注 5分 (600 mL/時間)

day 2

《サブルート》

- ① アセテート維持液 3G 500 mL 点滴静注 180分 (167 mL/時間)
- ② 生食 500 mL 点滴静注 180分 (167 mL/時間)
- ③ 5%ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 150分 (200 mL/時間)
- ④ カイトリル注 1mg 2A + デキサメタゾン注 6.6 mg (2mL) + 生食 100 mL  
点滴静注 30分 (200 mL/時間)
- ⑤ エトポシド + 生食 500 mL 点滴静注 120分 (250 mL/時間)
- ⑥ アセテート維持液 3G 500 mL 点滴静注 180分 (167 mL/時間)
- ⑦ コスメゲン + 注射用水 20 mL + 生食 50 mL 点滴静注 5分 (600 mL/時間)

※コスメゲンは1バイアルを注射用水 1.1 mL に溶解後(0.5 mg/mL)、必要量を抜き取る

- ⑧ ロイコボリン 15 mg 筋注 メソトレキセート投与開始 24時間後
- ⑨ ロイコボリン 15 mg 筋注 メソトレキセート投与開始 36時間後
- ◎ 点滴終了後メインの生食でルート内フラッシュして抜針

day 3

- ① ロイコボリン 15 mg 筋注 メソトレキセート投与開始 48時間後
- ② ロイコボリン 15 mg 筋注 メソトレキセート投与開始 60時間後

